



東村山折々～校長所感～



校長 富川 麗子

指定校内定者訓示式(10月18日)

中間考査、一日目の放課後、指定校内定の3年生を対象に指定校内定者訓示式を行いました。100%確定とは言えませんが、これまで、内定の生徒の皆さんが、本校に入学以来、努力してきた成果であると思います。既に、合格発表があった人もいるかもしれませんが、これから試験の人は、出願や試験日に向けて、更にコツコツと準備してほしいと思います。

この訓示式において、私からは次の二点について話をしました。

第一「責任」について

この指定校推薦というのは、「高等学校と大学等との約束事」です。「皆さんが希望し、それを学校が認めた」のです。私をはじめ、進路指導部の先生、3年生の先生、そして内定者の皆さん、皆さんの保護者は大学等に対して責任があるのです。まず、このことをしっかり頭に入れてください。皆さんが、内定先に合格し、入学手続きをし、入学する。そして入学後は、学業不振となることなく、しっかり学び、卒業することで責任を果たしていくことになります。万が一、これらのことを怠ると、その大学等から推薦枠を打ち切られてしまうことにもなります。つまり、皆さんの後輩の進路を狭めてしまうことになるのです。責任重大です。

第二「志を高く」について

皆さんは、早い時期に進路が決定します。決定後、4カ月くらい時間があります。その時間をどう使うかで、進学先への入学後の充実度が大きく変わってきます。また、同じクラス、学年の友達の中には、まだ、進路が決まっていない人もいます。皆さんが、指定校内定を得るまでには、多くの人の支えがあったことを自覚し、自分の進路が決まったからよいのではなく、これから進路を決定していく同級生が、希望を叶えられるように配慮し、言動に気をつけられる人であってほしいと思います。

このような気持ちで、上級学校に入学してほしいと思います。そして上級学校で学んだことを社会に生かしていく。皆さんにとっては、上級学校に入ることが目的ではなく、学んだことを生かして、社会に貢献することが人生の目的なのです。

今、皆さんの選択した進路が、後になり、あのときの自分の進路選択は間違っていなかったと言えるように自信と新たな志をもって頑張してほしいと思います。



【活躍する村高生】～美術部と1年生の芸術・美術選択者～



10月28日から30日まで行われた「東村山市民文化祭」(中央公民館)に、本校の美術部と1年生の芸術・美術選択者(一部)の作品が出展されました。30日(日)には、美術部の2年生が受付係を行いながら、市民文化祭に参加していました。東村山市教育委員会や文化協会の皆様も、本校

生徒の作品出展を大変喜んでくださいました。美術部の皆さんは、現在、東京都高等学校文化祭美術・工芸部門中央大会(中央展)への出品に向けて取り組んでいるとのことです。こちらも楽しみです。



☆『校長室だより』は本校 HP にも掲載しています。是非、HP でカラー版を御覧ください。  
☆HPでは「東村山折々」・「月々の東村山」で学校の様子を紹介しています。併せて御覧ください。

